

## パナマ内政・外交（2020年2月定期報告）

### 【ポイント】

○5日、コルティソ大統領は、新治安大臣に航空海上保安隊（SENAN）のフアン・マヌエル・ピノ指揮官、新内務大臣にシェイラ・グラハーレス・パナマ県知事を任命した。一方で、同新内務大臣は19日、就任後わずか2週間で大臣職の辞任を公表した。

○17日、米国ワシントンを訪れたフェレル外務大臣は、国務省及び財務省代表者と会談し、投資、安全保障、麻薬密売の撲滅への協力、マネーロンダリング等分野を含む二国間アジェンダの再検討を行った。

### 【本文】

#### ●内政

##### 1 内務大臣及び治安大臣の交替

（1）5日、コルティソ大統領は、政府の方針と相容れないとして、治安大臣及び内務大臣の交替を決定した。

（2）コルティソ大統領は、4日に発生した、誘拐・殺人の罪で懲役50年の刑を受け収監されていたGilberto Ventura Ceballos受刑者の脱走を受け、ミロネス治安大臣が辞表を提出すると共に、ロメロ内務大臣を更迭した旨述べた。

（3）また、コルティソ大統領は、新治安大臣に航空海上保安隊（SENAN）のフアン・マヌエル・ピノ指揮官、新内務大臣にシェイラ・グラハーレス・パナマ県知事を任命した。

##### 2 グラハーレス内務大臣の辞任

19日、ロメロ前内務大臣の罷免を受け、6日付で新たに就任したグラハーレス内務大臣が辞任を表明した。就任後わずか2週間での同大臣の辞任に、当国大統領府はツイッター上にて辞任を認めたものの、辞任理由及び後任人事等の詳細は明らかにしていない。

#### ●外交

##### 1 ソラノ・コスタリカ外務大臣のパナマ訪問

（1）14日、フェレル外務大臣は、就任後初の外遊先としてパナマを訪れたソラノ・コスタリカ外務大臣と会談した。

（2）堅実な二国間関係強化に向けた両国政府の関心により実現した本会談において、両外相は、真の民主的制度を補強する域内政治対話の強化への関心を

表明した。

(3) 本会談において、フェレル外務大臣は、パナマとコスタリカが共有する価値観及び歴史について触れ、両国国民の利益のため引き続き協力していく旨強調した。

(4) また、両外相は、二国間の国境付近の治安維持の重要性、二国間での制度化及び相互利益を生む貿易等のテーマにつき協議した。

## 2 フェレル外務大臣の米国訪問

(1) 17日より、米国ワシントンを訪れたフェレル外務大臣は、国務省及び財務省代表者と会談し、投資、安全保障、麻薬密売の撲滅への協力、マネーロンダリング等分野を含む二国間アジェンダの再検討を行った。

(2) フェレル外務大臣は、ビーガン国務副長官との間で、二国間及び米州地域にかかる様々なテーマについて、また、コザック国務次官補代行及びエイブラムス米ベネズエラ特使とベネズエラ情勢について協議した。

(3) 同様に、フェレル外務大臣は、テロ資金調達担当のビリングスリー財務次官補代行と会談した他、米大手シンクタンク戦略国際問題研究所(CSIS)にて、パナマの外交政策について講演した。

## 3 フェレル外務大臣の第18回リマ・グループ会合出席

(1) 19日、フェレル外務大臣を始めとしたパナマ政府代表団は、カナダのオタワで開催された第18回リマ・グループ会合に出席した。

(2) フェレル外務大臣は、ベネズエラのマドゥーロ政権の終焉及び同国における民主主義の復活に向け、コルティソ政権は発足直後より、国際レベルで様々な存在するイニシアチブを収束・統一することの重要性について主張してきた旨述べると共に、定期的声明の発表に代わる具体的なプランを設定するとした、リマ・グループの姿勢の変化を評価した。

(3) また、20日に開催された外相会合において、フェレル外務大臣は、定められた期間内に確実な成果を出すことを目指した具体的なアクションプランの実施のため、リマ・グループとその他国際社会との連帯の重要性を強調した。

## 4 フェレル外務大臣のウルグアイ訪問

29日より、フェレル外務大臣はウルグアイを訪問し、ラカジェ新大統領の就任式に参列した。フェレル外務大臣は、国会前での大統領及び副大統領の就任宣誓と共に、独立広場での大統領授与式に参列した後、3月2日にパナマに帰国した。

(了)